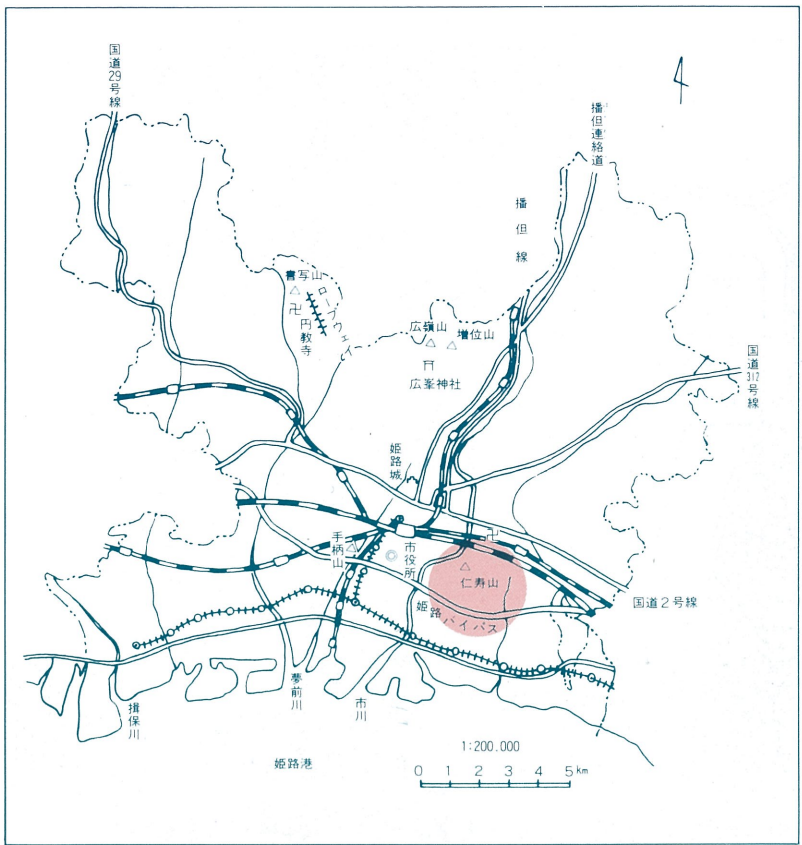
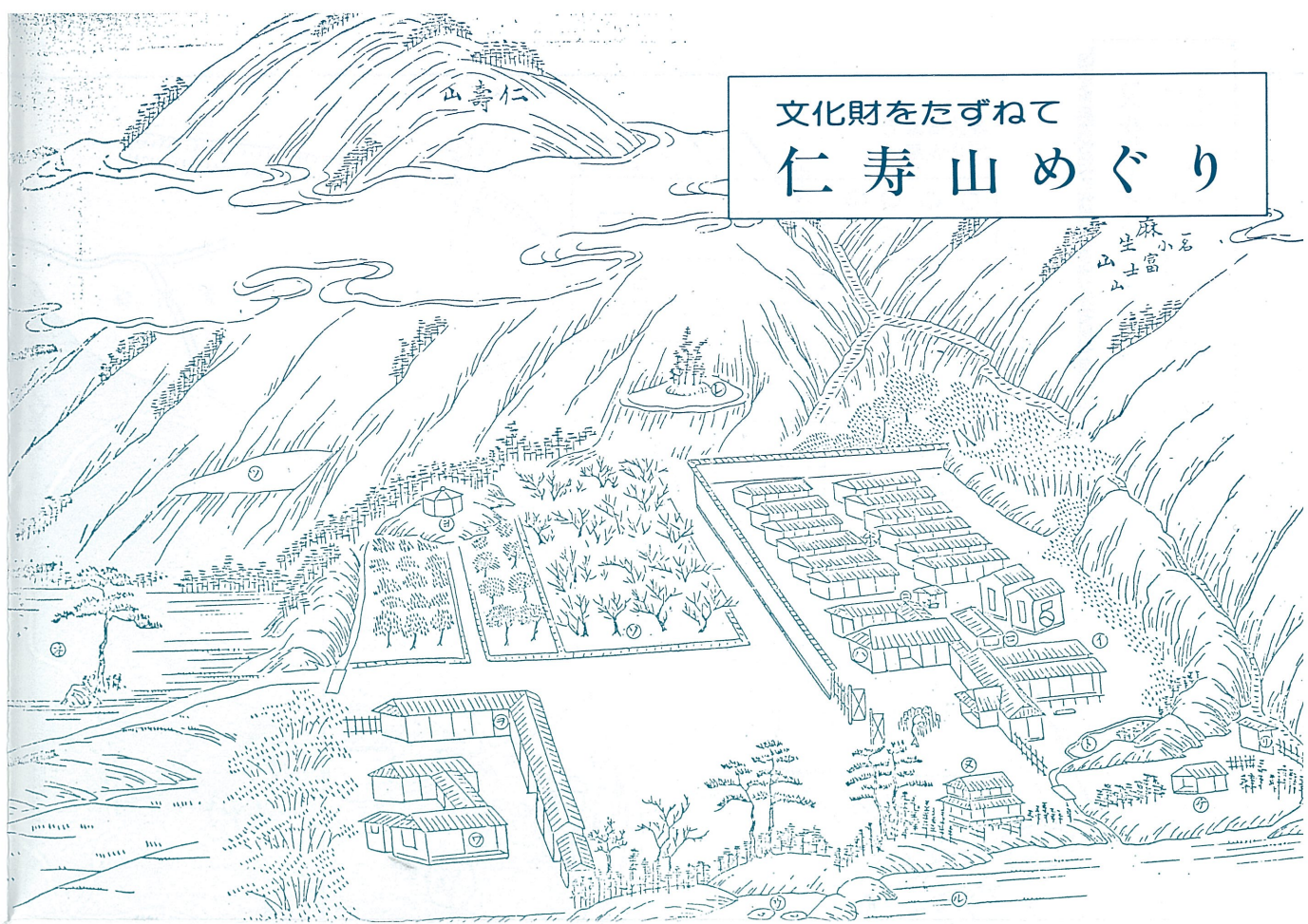


# 文化財をたずねて 仁寿山めぐり



## 交通案内

JR姫路駅より、市営バス東山行・福泊行・白浜海岸行  
兼田バス停下車

## コース案内

- 兼田地蔵——(600m)——河合家墓所・墓所前古墳——(約1km)——大塚古墳——(400m)——仁寿山校——(250m)——麻生八幡神社——(約1.5km)——小箕塚——(500m)——見野バス停
- 北原の石仏および北原・八幡神社は、姫路バイパスのガードをくぐり南へ、あるいは、歩道橋を渡って南へ
- 全行程は約五・三kmあります

## 表紙説明

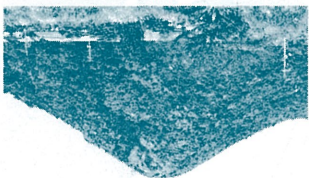
下田重復が子供の頃の記憶をたどり、さらに古老からも話を聞いて明治四十年代に描いたもの

昭和59年3月31日(姫路市教育委員会発行)  
平成3年1月再版(姫路市文化財保護協会)

※「山壽仁」の山位移りしたとされています。この今も石碑は現在残っています。この今も石碑は現在残っています。

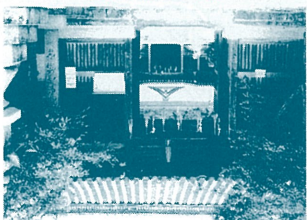


小箕塚  
小箕塚は、山頂の北側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。



麻生山  
麻生山は、山頂の南側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。

麻生八幡神社  
麻生八幡神社は、山頂の北側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。

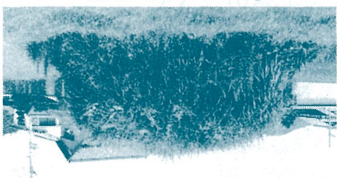


北原の石仏  
北原の石仏は、山頂の北側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。

兼田古墳  
兼田古墳は、山頂の南側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。



兼田古墳  
兼田古墳は、山頂の南側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。



大塚古墳  
大塚古墳は、山頂の北側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。



河合家墓所  
河合家墓所は、山頂の南側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。

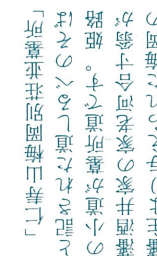
兼田地蔵  
兼田地蔵は、山頂の北側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。

兼田古墳  
兼田古墳は、山頂の南側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。

大塚古墳  
大塚古墳は、山頂の北側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。



河合家墓所  
河合家墓所は、山頂の南側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。



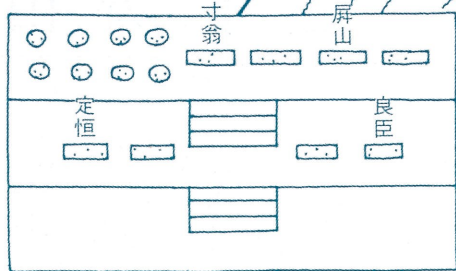
兼田地蔵  
兼田地蔵は、山頂の北側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。

兼田古墳  
兼田古墳は、山頂の南側にあり、石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。また、この墓石の周囲には、多くの石造の墓石が並ぶ。この墓石は、戦国時代のものと推定されている。

# 仁寿山めぐり

文化財をたずねて

姫路藩家老  
河合家墓所



至姫路駅

四郷町 東阿保

16基まで確認されているが、それ以上あると見られる。遺物などについてはよく知られていない。

金の耳飾りや刀、剣、玉、よろいかぶとなどが出土。県立歴史博物館に展示してある。径30mの円墳、県史跡・周囲は古墳公園になっている。

文政9(1826)の石燈籠、石棺の蓋石もある。

現在10基の古墳が残っている。巨石を用いたものなどあり、公園に説明板がある。

姫路行 バス発着場

姫路大橋

国道2号

起点

池の元

終点

旧姫路藩家老河合家史蹟  
仁寿山梅岡別荘並墓所  
従是約五丁許

国府山城跡

至妻鹿

至白浜

仁寿山学問所近道  
従是北約八丁



0 500

